

第68回企画展

# 遮光器土偶の発見



岩手県は土偶が日本一多く、遮光器土偶も同様です。  
工芸技術に優れた亀ヶ岡文化は、全身空洞の遮光器土偶を生み出し、  
遠く神戸まで真似た土偶が見られるほどの優品です。  
岩手県特産とも言える遮光器土偶を、伝統や使用痕など  
様々な角度から検討し、用途解明に迫ります。

平成29年 **6.3(土)~8.20(日)** 岩手県立博物館

●休館日：月曜日（休日の場合は開館し、翌平日休館。） ●臨時開館日：平成29年7月31日（月）・8月7日（月）・8月14日（月）  
●開館時間：9時30分～16時30分（入館は16時まで） ※8月は、～17時30分（入館は17時まで）  
●入館料：一般310円（140円）、学生140円（70円）、高校生以下無料 ※（ ）内は20名以上の団体割引料金 学校教育活動で入館する児童生徒の引率者は、申請により入館料免除となります。療育手帳、身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方、及びその付き添いの方は無料です。

●主催：岩手県立博物館、公益財団法人岩手県文化振興事業団  
●会場：岩手県立博物館 特別展示室  
●住所：〒020-0102 岩手県盛岡市上田字松屋敷34番地  
●電話：019（661）2831 ●FAX：019（665）1214

第68回企画展

# 遮光器土偶の世界

岩手県は土偶が日本一多く、遮光器土偶も同様です。

工芸技術に優れた亀ヶ岡文化は、全身空洞の遮光器土偶を生み出し、遠く神戸まで真似た土偶が見られるほどの優品です。

岩手県特産とも言える遮光器土偶を、伝統や使用痕など様々な角度から検討し、用途解明に迫ります。



工芸技術に優れた亀ヶ岡文化は、全身空洞の遮光器土偶を生み出しました。



土偶は自立できないので、立たせるには装置が必要です。背中が平らなのは理由があります。



使用により磨滅しています。ここから遮光器土偶の使い方を考えていきます。



岩手町豊岡遺跡出土

## 展示構成

- 第1章 土偶の歴史—遮光器土偶の前
- 第2章 遮光器土偶とは…馬淵川～北上川流域が中心
- 第3章 遮光器土偶の広がり…北海道から兵庫県まで
- 第4章 同じ時期の土偶
- 第5章 遮光器土偶を生んだ亀ヶ岡文化
- 第6章 土偶の終わり—遮光器土偶の後
- 第7章 遮光器土偶は何のために作られたのか

## ◆展示解説会（中学生以上対象）

- ① 6月10日(土) ② 7月30日(日) ③ 8月6日(日)
- 各回とも14:30～15:30 特別展示室／要入館料

## ◆子ども展示解説会（小学生対象）

- ① 8月1日(火) ② 8月11日(金・祝)
- 各回とも10:30～11:30 特別展示室／高校生以下無料

## 岩手県立博物館への交通アクセス

### ●路線バスをご利用の場合

盛岡駅前11番のりば、または盛岡バスセンター12番のりば（ななっく前）発、基幹バス「松園バスターミナル」行または「松園営業所」行に乗り、「松園バスターミナル」で支線バスに乗り換え、「県立博物館前」下車、徒歩約5分。「松園バスターミナル」から県立博物館までは徒歩約20分。

### ●お車をご利用の場合

東北自動車道 盛岡ICから約30分、東北自動車道 滝沢ICから約20分

〒020-0102 岩手県盛岡市上田宇松屋敷34番地

## ◆土偶シンポジウム「土偶は壊す？壊さない？」— 講堂／当日受付・聴講無料

7月16日(日) 13:30～15:30

基調講演：小野美代子氏（元（公財）埼玉県埋蔵文化財調査事業団）

土偶は壊すものと言われてきましたが、果たして本当でしょうか。

## ◆県博日曜講座 — 講堂・教室／当日受付・聴講無料

① 6月25日(日) 13:30～15:00

「遮光器土偶の使い方」 講師：金子昭彦（当館学芸員）

② 7月9日(日) 13:30～15:00

「雨滝遺跡と雨滝論争」 講師：丸山浩治（当館学芸員）

③ 7月23日(日) 13:30～15:00

「盛岡川目A遺跡・600点の土偶」 講師：高木晃氏（（公財）岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター）

## ◆考古学セミナー 現地見学会「土偶の里、花巻、北上 — 土偶多出遺跡の謎に迫る —

10月14日(土) 花巻市総合文化財センター

花巻市総合文化財センター所長中村良幸氏の講演および展示資料の解説。

※事前申込が必要です。申込方法は8月に降に発表しますので、当館広報物やホームページにてご確認ください。

